

2日めの分科会から

心に残る言葉

「子ども達は未来のために生きて
いるのではなく、今も生きている」
と、言葉が心に残りました。

(居場所A・父母)

ひよっこりし

親や先生がああしろ、こうしろと
いうのが子どもにプレッシャーを
与えてしまう。だけどそのプレッシャー
からときはなれた時、ひよっこりし
「これがしたい!」という意志がで
てくるのかもしれない。

(進路・青年・長崎)



551の豚まん

宝物

それぞれの方の重い、重かった現実
がすべて人生の宝物になると
思いました。

(家庭づくり・父母・東京)

大切にしたい

誰にも言えなかつたことを、誰にも
責めないところで自然にさらけ出
せる場所、運営も体制も厳しい
分科会ですが、あらためて大切に
していきたいと感じています。

(非行・父母・埼玉)



つながり

親の会同士のつながりだけでなく
その他の行政団体や専門家と
専門機関とのつながりを見据え
日々の活動をされていることに
驚きました。

(手をつなぐ・青年・愛知)

あせりやらぐ

「信じて待つ」わかっていても時々
あせりやらぎます。本人が望む着
地点にたどり着くこと、切に願っ
ています。

(青(成)年期・兵庫)

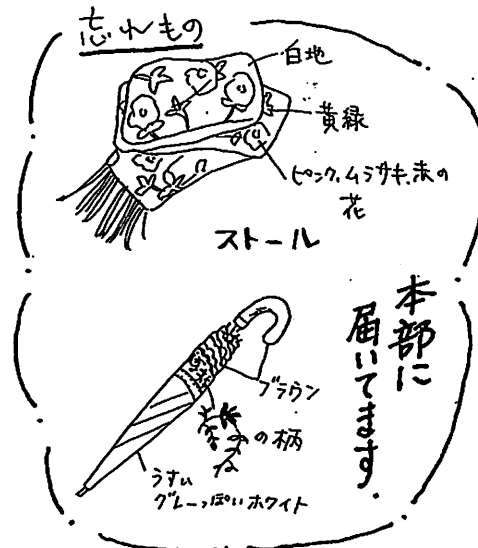


お好み焼き

学校の中に親の会

学校の中に親の会があるという話に
驚きました。すてきな取り組みを
されているなと感じました。

(学校づくり・父母・教職員・長崎)



吐き出す

初めて参加させていただきました。
同じ経験をした人と共感
できる場所があり、私の苦し
みを吐き出すことができ、気持ち
が楽になりました。うなづい
て聞いてくれるところなど、
嬉しかったです。

(進路・兵庫)

不安と期待

皆さんの現状を聞かせていただ
いて、胸がどきどきしはなしで
した。不安と期待と両方が押し
寄せてきました。男親の気持ちも
少しわかりました。主人にも参加
してもらいたいです。

(家庭づくり
・父母・大阪)



ライム、オレンジ、
焼きそば、チキン



基礎講座❖1「家庭で」

今日からまた信じて支援したい

世間によく言われている「子どもを信じて待つ」支援だと、不登校のまま引きこもりに移行し、働けなくなる。そんなに何もせずに待っていたら何年も無駄にするという説を聞きますが、今日の村上先生のお話をお聞きし、ただ何もせずに待ただけではないことが分かりました。今日学ばせていただいたことをしっかり胸に刻んで、今日からまた子どもを信じて支援したいと思います。(父母・神奈川県)



集いの滝

身を守る行動としての登校拒否

村上先生のお話。

登校拒否の原因は、本人や親でなく、キウクツな学校生活、詰め込み教育、社会的要因によるものである事、スッキリしました。本人の身を守る行動としての拒否を親として受けとめていかねければ、と思いました。

(父母・大阪)



14歳



たこす

春がそこまで。

佐世保のつどいで村上先生の話を読みながら考えを変えました。引きこもり12年……。今日の話を読みながら春がそこまで来るのだと心が明るくなりました。(父母・宮崎)

基礎講座❖2「学校で」

午後も基礎講座があればな。

本人や保護者が学校や教師に対して思っていることやしてほしいこと、してほしくないことをもっともっと聞きたいと思いました。

(. .)



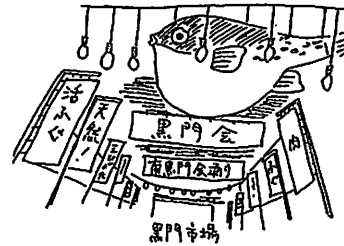
お母さん

宝物のような時間を保健室で

保健室登校について

「こんなところにいる〜」とか
「いつまでこうしているの?」とか
「先生が甘やかすからです〜」とか
どれほど言われたことでしょうか。
でも子どもは保健室でひと息ついて育ち、巣立っていきましょ。宝物のような時間を保健室ですごしていたと思います。

(教職員・新潟)



黒門市場

子どもの人権を守る

学校の上からの圧力、同調圧力がすごいというのがとても感じた。福祉だから、教育者だからという立場にとらわれず、子どもの人権を守るという一点を見るという志を持って、しなるところを再確認出来た。

(. . 愛知)



17歳